

平成 30 年度 静岡大成中学校 学校評価書

評価対象	評価項目	具体的な取り組み	自己評価		学校関係者評価委員会	
			評価点	学校としての反省と改善策	評価点	ご意見
① 自主性・協調性を 培い、自ら学び、 自ら考える力を 伸ばす。	基本的な生活習慣を確立させ、「やるべき こと・守るべきこと」が実行できる。	責任ある社会人の育成をめざし、決められたことや約束 事が実行できる姿勢を育てる。(ルールへの遵守・授業時 の態度・提出物の期限遵守・係り等の責任)	A	新入生については、指導に苦勞することも多いが、 学年が上がるにつれコミュニケーション能力や社会 性が身につけてきている。	A	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試制度改革を見据え、自ら考え、的 確に内容を伝えることを重視する授業展開 をしているとのこと、引き続き、先を見越 した指導をお願いする。 中学は、ICTを活用した授業を受けてき生 徒が多いことから、プロジェクターやパソ コンを積極的に活用するとともに、スカイ プも実施しているとのこと、是非、創意工夫 した授業展開をお願いする。 1Pノートや級別テストを積極的に活用する生徒 もいるとのこと、是非、学習習慣や自習力の醸成 にも力を入れていただきたい。 スリーライトクラスについては、本校の特色であ り看板授業でもあるので、その授業内容、時 間数、時間帯等も含めて、より生徒の意欲を引き 出す方法の見直しを常に心がけてほしい。
	「学力の3要素」を意識し、知識・技能を 育てるとともに、これからの時代に求めら れる資質や能力の育成を目指す。	個別の知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに 向かう力・人間性等を意識した授業展開やその研究	A	大学入試制度改革を見据え、自分の考えを持ち、 的確に伝えることを重要視した授業を展開してきた。 徐々に成果が表れている。	A	
	AL や ICT 機器を活用し、主体的・対話的 で深い学びに繋がる指導方法を取り入れ 生徒の能力を引き出す工夫をする。	AL や ICT 機器を積極的に活用し、双方向を意識した 授業に取り組み、授業内容を深め、生徒の学習意欲を 向上させる。	A	小学校の頃から AL や ICT を活用した授業を受けて きた世代が入学するようになり、主体的に取り組む姿 が見られた。	A	
	授業・部活動・行事・家庭学習など生活の リズムを習得させ、逞しい心身を育てる。	生活時間帯のコントロール力を身につけさせ、時間を 意識した、けじめある生活を心掛けさせる。	A	一部の生徒ではあるが、SNSやLINE、ゲームなど を深夜までやっている生徒がおり、家庭の協力を得 ながら改善していきたい。	A	
	学級活動・部活動や行事の活性化を進め、 協働して目標達成を目指す強い心を養う。	集団の一員としての責任感を育てると共に、主体性を 生かして仲間と協働して作り上げる達成感を養い成長 へ結びつける。	A	上級生の責任感を持った行動とそれを受け継ごうと する下級生の姿を様々な場面で見ることができた。	A	
	計画を立てて資格取得に励み、挑戦意欲、 物事をやり抜く力や自己を鍛える。	進路決定の大きな要因となる資格取得においては、 生徒に合った目標を立てさせ、達成に向かう主体性 ・計画性・忍耐力等を養う助言・指導をする。	A	各種検定に意欲的にチャレンジする姿が多く見られ た。英語科の先生方の指導もあり、多くの生徒が英検 準2級を取得することができた。	A	
	朝自習・1Pノート・級別テストの充実を図り、 内発的学習意欲と確かな学力を養う。	統一した指導を心掛け、基礎学力の定着だけでなく、 学習習慣や自学自習力を養う手助けをする。	A	1Pノートについては1ページにとどまらず、複数の ページにわたり自主学習する生徒が増えてきている。	A	
② 一人ひとりを大切 にして、夢や希望を 育み個性を伸ばす。	適性や希望を最大限生かせる進路実現に 向けて面談を繰り返し、生徒理解を深める。	決められた面接のみならず、生徒の変化を捉え、時機を 得た声掛け、心掛けをし、生徒の希望や適性を生かした 生活指導や進路選択に寄り添う。	B	1年次から進路指導をすることにより、3年次の早い 段階で進路希望を確立し、目標達成に向けて努力 する姿が見られた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 1年次から進路指導を実施しており、3年時 の早い段階で進路希望を確立できるよう指 導しているということであるが、是非、生徒 の能力を十分引き出せるよう努力をお願い する。 どのレベルの学校を目指すかは難しい選択 ではあるが、十分生徒の思いに耳を傾け、適 切な指導をお願いする。 最近、難関高校へ入学した生徒以外の生徒 から、大成高校に行けばよかったという声 が聞こえてきている。大成中学としても、 大成高校との関係について考えてみる時 期にきているのではないかと。
	仲間との連帯感や達成感が得られるよう 学校行事・学級活動や部活動等の充実・ 工夫を深める。	自立した集団の一員となるよう、活動や行事の意義を 理解させ、主体的行動を生み出す指導を心掛ける。	A	生徒会や各専門委員長を前面に出し、さまざまな 行事を自分たちのチカラで成功させることができた。	A	
	生徒が確かに成長した実感を持たせる 指導に徹する。	努力していることや頑張ったことは些細な事でも認め、 評価していることを伝え、更なる行動や活動に繋がる 指導を心掛ける。	A	全教員で「褒めて伸ばす」ことを意識してはいるが、 日々起こる問題行動に対し、叱る頻度のほうが多 くなってしまった。	A	
	集団の中で生徒同志が望ましい人間関係 を築く手助けをする。(孤立させない)	生徒の変化を見逃さないために速めの対応、速めの声 掛けを心掛け、授業時や昼食時等の生徒の動きや様子 を把握し、学級内や部活等での指導に生かす。	A	各学年ともクラス担任の横のつながりを意識し、部活 顧問の協力を得ながら、問題に対し早期発見・早期 解決することができた。	A	
	難関公立高校合格率の向上へ繋がる 3ライトクラスを意識した取り組み。	生徒の希望が達成できるよう目的意識を持ち、難度の 高い学力の定着を図る。難関高校の入試に対応できる 授業展開を心掛ける。	B	最近の傾向として、偏差値の高い高校に入学し下 位にいるよりも、1ランク下げた高校に入学し上位で 頑張りたいという考えの生徒が増えてきている。	B	

評価の基準 A 達成できた B おおむね達成できた C あまり達成できなかった D ほとんど達成できなかった

③ 礼節を重んじ、明るく生き抜くための逞しさを伸ばす。	規範意識の確立を図り、積極的な生徒指導に励む。	生徒の問題行動や不登校の予防的対応、また発生後の対処を的確に行い、社会の一員として自らの行動を選択・実行し、責任が取れる生徒を育てる。	A	校外での生徒の活動や行動について注意や指導を受けることはなかったが、規範意識についてはまだ足りないと感じている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・中学では、先生よりも先輩を見て行動することが多い。その意味では、上級生が後輩を指導する意識を高めることは十分意義がある。努力をお願いしたい。 ・本年度は、朝、正門前で生徒が挨拶をしてくれる。挨拶運動が徹底されてきているように思われる。是非、継続して実施していただきたい。 ・行事の時は褒められることが多いが、普段の学校生活に対して生徒に関する苦情が少ないとは言えない。注意された状況、注意した人の言い方にもよるが生徒が自然に謝罪の言葉が出るような雰囲気づくりも必要と思う。地道な努力をお願いしたい。
	マナーの向上を図る。 (通学時、授業時、校内)	校内外において挨拶や適切な対応のできる生徒、また品位ある服装や立ち居振る舞いを心掛けることの出来る生徒の育成。	B	生徒会が中心となり、毎朝正門の前であいさつ運動を展開することができた。生活指導で困ることはないが生徒間での言葉遣いにドキッとすることがある。	B	
	授業規律を整え落ち着いた、けじめある学びの環境を作る。	授業規律を整え、落ち着いた学びの環境を整えるために、チャイムで始まる授業、机上や身の回りの整理整頓、授業開始・終了の挨拶などに意識的に取り組む。	A	「時間を守る」ことは学年が進むにつれて徹底できている。整理整頓が苦手な生徒が一部見られるので継続的に指導していく。	A	
	清掃活動や整理整頓から、物を大切にすることを、感謝の心、社会奉仕の心を育てる。	清掃活動やボランティア活動を通して、社会に奉仕する心や、物を大切にすることを育てる。	A	生徒会や厚生委員会が中心となり、さまざまなボランティア活動を展開することができた。	A	
	多様性を受け止め、協調性やコミュニケーション力豊かな生徒を育てる。	多様な仲間の考えや立場を理解し、他者を受け入れる心を育てる。	A	数名の長期欠席者が出てしまった。欠席理由はクラスさまざまではあるが、担任は家庭とこまめに連絡を取りながら復学を目指している。	A	
④ 生徒の能力と適性が生かされる進路実現	夢や希望を持った進路実現を目指すに、進路に関わる最新の知識や情報を、生徒や家庭と共有できるよう教員自らも積極的に学び研究する姿勢を持つ。	3年間の進路指導の流れを理解、熟知し、生徒の適性を生かした進路指導を考える。早い時期から外部の進路説明会やオープンキャンパス等への参加を促し、進路意識を育て、目標を持った学校生活を送らせる。	A	各学年の発達段階を考慮しながら進路指導を進めることができた。夏休みには15名の卒業生が来校し後輩たちに受験へのアドバイスをしてくれた。今後はもう少し早い段階で目標(志望校)を決めさせたい。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生から話を聞くことは、最も身近な経験者から進路に関するノウハウを聞くことである。本年度も15人からの卒業生が来校し、アドバイスをしてくれたとのこと、たいへん良い伝統ではないかと思う。是非続けてもらいたい。 ・「職業調べ」や「高校調べ」は、自らの手で自分の夢の実現に取り組むことであり、自分を見つめる下地にもなる。こちらも是非続けてもらいたい。
	第1学年は自己の適性や将来への希望を生かした進路を目指し、学習する習慣を確立させ計画的な取り組みの定着を図る。	生徒・保護者との信頼関係を築き、3年間の進路指導の流れを理解し、生徒の個性や適性を生かした進路指導に繋げる。	A	「職業調べ」に取り組むことで、自分の夢の確立とその夢を実現するための道筋について理解を深めることができた。	A	
	第2学年は目標達成のための学力の充実と共に保護者に的確な進路情報を与える。	生徒・保護者・教員それぞれが積極的に情報を集めると共に、志望校決定に向けた具体的な学習方法の取り組みを指導する。	A	「高校調べ」に取り組むことで、様々な高校の特徴を知るとともに、自分の夢の実現にシンクロする高校を見定めることができた。	A	
	第3学年は目標達成へ、最大限の能力を発揮させ、進路実現・自己実現を図る。	面接を利用し、十分な話し合いを繰り返し、親子共々納得できる進路決定を目指す。	B	自分の夢や目標を第1優先としながらも、合格に必要な学力や資質を考慮しながら、志望校を決めることができた。	B	
⑤ 授業力を高め、教育の質の向上に努める。	校内外の研修会・研究授業・公開授業に積極的に取り組み、全教員が研修を積み、授業力・学校力を向上させる。	校内での研究授業・公開授業や外部の研修会に積極的に参加し、自己研修に積極的に励み、指導方法や授業形態の工夫を図り、授業の質の向上に努める。	B	ICTやタブレット、プロジェクターといったデジタル機器を積極的に取り入れ、「わかる授業」を展開することができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中学は、授業公開や研究授業を積極的に行うとともに、ICTを活用した授業への対策として、先進校への視察や様々な研修への参画を促しているとのこと、引き続き積極的な対応をお願いする。 ・授業評価アンケートは全教員を比較すると客観的な状況が見えると聞く。昨年度からより容易に授業評価ができるよう、マークシート方式からパソコン入力方式に変更したとのこと、授業改善等に積極的に役立てていただきたい。
	生徒による授業評価を真摯に受け止めると共に自己評価・外部評価を生かし、改善・向上に努める。	生徒の声を真摯に受け止め、自分の授業を振り返り、授業力の向上を目指して、常に努力する。	A	授業アンケートの結果を真摯に受け止め、授業力の向上に努めていきたい。	A	
	指導計画表や教科ごとの指導目標の充実に努め、進度や内容、定期テスト、評価について公平性・妥当性を図る。	指導計画表や各教科の目標のもとに、授業の進行、学習内容、学習の進度等を確認し、指導内容や評価に不公平感が生じないように努める。	A	各教科とも指導計画表に則り、授業を進めることができた。また、授業進度や評価についても常に担当者間で連絡を取り合いながら進めることができた。	A	
	教務内規を理解して、生徒の指導に生かし、手落ちがないよう万全を期す。	出欠席の状況や授業に臨む姿勢に気を配り、学級担任等と連絡を取り合い、情報を共有し、内規に合った指導をする。	A	教務内規に基づき、担任間でバックアップや情報交換をしながら管理・指導をすることができた。	A	

評価の基準 A 達成できた B おおむね達成できた C あまり達成できなかった D ほとんど達成できなかった

⑥ 安心安全のもと、開かれた学校づくりの推進に努める。	本校 HP 等を利用し、保護者・卒業生・受験生の必要な情報、また生徒の頑張りや活動報告などを効果的に外部に発信し、全職員で積極的広報活動を進める。	情報を提供する者、それを外部に発信する者が各自の立場で、本校の魅力を PR できるよう、広報活動においては全職員で取り組む。	A	本校ホームページ内の「今週の大成」や「部活の大会結果」では、中学部の先生方に情報をいただき、常にタイムリーな話題を提供することができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1週間に1度はホームページを更新している。先生方の努力が認められる。 ・家庭の問題や経済の関係もあるだろうが、次年度は是非オーストラリアへのホームステイを実現してもらいたい。 ・本年度もPTA懇親会にはほぼ全員の先生が参画したとのこと、保護者との交流は生徒の指導にとっても大切であり、是非積極的なPTA活動を継続してもらいたい。 ・いじめアンケートを実施し、速やかに対処できるよう努力しているとのこと。いじめには、早期の対処がもっとも大切と考える。よろしく願います。
	国際理解教育を進めるため、ホームステイ研修者だけでなく、あらゆる教育活動の中において、グローバルな視点に立って物を考える生徒の育成に努める。	異文化を体験できる機会を上手に捉え、多様なものの見方、考え方のできる視野の広い生徒を育成する。	A	各クラス設定されている英会話の時間に加え、今年度はインターネット(スカイプ)を利用し、外国の子供と交流することができた。	A	
	地震や災害時を含めた危機対応体制を理解し、効果的訓練から安心安全を高める。	地震や災害時だけでなく普段の生活においても、安全を意識し、施設設備や防災器具の点検を定期的に行い事故を誘発することの無い環境づくりを心掛ける。	A	年3回の防災訓練と各学期末の設備点検を滞りなく実施することができた。	A	
	生涯学習・PTA行事・地域交流などに積極的に関わり、本校の教育を身近で伝える。	PTA活動や地域交流には積極的に関わり、保護者とのスムーズな関係を築くと共に本校の教育に対する理解を深める機会とする。	A	PTA懇親会には中学部の教員はほぼ全員が参加し保護者との交流を深めることができた。	A	
	小学校・中学校との関係を大切にし、信頼関係の構築に努める。	信頼性の高い学校をめざし、入学した生徒一人ひとりを大切に育て、成長させて必ず卒業させるこの思いを全職員で共有し、生徒指導や教科指導にあたる。	A	3年生は1名、2年生は3名、公立中学校への転校生が出てしまった。教員として、入学した生徒は必ず卒業させるという使命感を強化していきたい。	A	
	静岡精華幼稚園・静岡福祉大学との連携を密にして、相互の発展に繋げる。	学園間の連携を深め、職員間の交流を積極的に行ない、共存共栄を図る。	B	幼稚園には保育実習で大変お世話になっている。中高大連携については、中学の在り方の検討が必要だと感じている。	B	
	教育相談の充実を図り、いじめの早期発見や予防に努める。	いじめアンケートのみならず普段から生徒の様子の変化を見逃さず、早めの対応ができるよう、職員間で情報を共有する。	A	いじめアンケートの結果に対しは速やかに対処することができた。いじめをしているという認識のない加害者への指導が急務だと考えている。	A	

評価の基準 A 達成できた B おおむね達成できた C あまり達成できなかった D ほとんど達成できなかった